

系	統	2液型エポキシ樹脂系低温用炭素繊維シート含浸接着剤
特	長	1) 炭素繊維シートに対する含浸接着性に優れる。 2) 耐水性、耐薬品性、耐アルカリ性に優れる。 3) 低温硬化性に優れる。
用	途	1) 低温用 (-5℃~10℃) 炭素繊維シート接着工法用含浸接着剤
配	合	主 剤 : 硬化剤 = 3 : 2 (重量比)
荷	姿	10kg セット (主剤/6.00kg、硬化剤/4.00kg)
外	観	主 剤…淡白色粘稠液状 硬化剤…緑色液状 混合物…緑色粘稠液状

## 可使時間の目安

温 度 [℃]		-5	5	10
可使時間 [分]		50	40	25
塗装間隔	最短 [時間]	48	24	16
	最長 [日]	7	7	7

比	重	1.00~1.30 (硬化物)
標	準	使用する炭素繊維シートのメーカー仕様による -仕様例- 目付量300g/m <sup>2</sup> 0.8kg/m <sup>2</sup> (下塗り0.5kg/m <sup>2</sup> , 上塗り0.3kg/m <sup>2</sup> ) 目付量200g/m <sup>2</sup> 0.6kg/m <sup>2</sup> (下塗り0.4kg/m <sup>2</sup> , 上塗り0.2kg/m <sup>2</sup> )
貯	蔵	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 区 分 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
日	本	J A I A - 0 1 0 5 7 3 F ☆ ☆ ☆ ☆
製	品	登録
毒	物	主 剤 該当しない
取	締	硬化剤 該当しない
使	用	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー等で被塗面に塗布し、炭素繊維シートを接着する。 4) 含浸・脱泡ローラーで接着剤を含浸させ、気泡や余分な接着剤をしごきとる。
使	用	1) 汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。 2) 結露等湿潤面への施工は避ける。 3) 可使時間内に作業を終了する。 4) 塗装間隔が7日以上となる場合は、被塗面をサンドペーパー等で処理する。 5) 施工温度は-5℃~10℃とする。

ショーボンド CE (WW) は、低温用に開発された炭素繊維シート接着工法用含浸接着剤です。従来製品と使用温度域が異なりますので、注意してください。

⚠ 注 意
-------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。</li> </ol> |
|--|